# **「顔で。元気に。楽しく** 地域とつながる。



## 人とつながる

がけている川本さん。 ら率先して積極的に行動することを心 きで、負けず嫌いな性格。何事にも自 幼少のころから、体を動かすのが好 大学時代から本格的にバレーボール

を始め、国体出場の夢は叶いませんで

今でも冷めていません。

バレーボールを通して、たくさんの人 快感を味わうことができます。また、 げまわって笑う、体を動かすことで爽 き合って喜び、珍プレーの時は床を転 聞くと「白いボールを追いかけて、コー 斐となっている川本さんにその魅力を ができることを幸せに感じて、生き甲 生き生きとしたプレーをしたい、そし く人が多くいる中、年を重ねても、い どと言ってバレーボールから離れてい ム」を平成14年に発足させました。 バレーチーム「ことぶきしまばらチー 仲間に呼びかけ、60歳以上のママさん トを走り回り、ナイスプレーの時は抱 ルをいつまでも続けたいと思い立ち、 て、同年代の仲間と大好きなバレーボー つまでも若者に負けないパワーと声で もう年だから、体が動かないからな みんなで一緒に楽しくバレーボール





#### 地域とつながる婦人会活動を通して

会会長を務めている川本さん。 会会長を務めている川本さん。 地区会長に就任以来、地域の 子どもたちのために何かできな い地元小学校の卒業生の手によ い地元小学校の卒業生の手によって植樹された約100本の 安中梅林の活用だったそうです。

収穫し、その梅を使った梅ジュースや梅干しをつくります。また、自分たちでつくった梅干しを給食で食べてもらいます。このような体験を通して、噴火災害を経験していない子どもたちに興味・関心を持ってもらうことで、災害を風化させることなく、後世に継承できます。また、学習発表会では体験した子どもたちから感謝の言葉をかけられる時が一番うれしく、やりがいを感じる瞬間です」と語る川本を感じる瞬間です」と語る川本さん。

話してくれました。がっていきたいです」と力強くをはじめ、保護者や地域とつな地域行事に関わり、子どもたち「これからも、積極的に学校や



#### 「人生の達人」 川本 まなみさん (71)

昭和23年、7人兄弟の三女として

広馬場町で生まれ、育つ。県立短期大学卒業後、小学校の教諭として教壇に立つ。 結婚を機に退職し帰郷。昭和62年4 月から市教育文化振興事業団職員として 勤め、平成20年、市体育館館長を最後 に退職。平成22年から安中地区婦人会 会長、また、平成30年から市婦人会連 絡協議会会長を務め、市全体の有志婦人 の取りまとめをはじめ、さまざまな活動 を通して、地域の発展に尽力している。

> 今年度から、市内5地区の婦人会の 今年度から、市内5地区の婦人会連絡 ながりを大切にして、「今日(教)用事(養) ながりを大切にして、「今日(教)用事(養) かあって、行く(育)所がある。それ ながりを大切にして、「今日(教)用事(養) ながりを大切にして、「今日(教)用事(養) にさまざまな活動を続けていくそうで にさまざまな活動を続けていくそうで

していけたらいいですね」と笑顔で話めに一気の秘訣を聞くと「何事も一人ではなく、みんなと一とに参加することが好きです。さまざまなこかりもできますし、そのつながりを大かりもできますし、そのつながら自分も成と



### みんなと一緒が好き

してくれました。